科目ナンバリング	G-LAS15 80002 LB70						
授業科目名 <英訳>	有人宇宙学 Human Spaceology: The Study of Human Space Activities			担当者所属職名・氏名	総合生存学館 特定教授 土井 隆雄 総合生存学館 教授 山敷 庸亮 教育学研究科 准教授 田口 真奈 ヒト行動進化研究センター 准教授 足立 幾磨 総合生存学館 関係教員		
群	大学院横断教育科目群	分野(分類)	複合領域系			使用言語	日本語及び英語
旧群		単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義（対面授業科目）
開講年度・開講期	2024・後期	曜時限	水5	配当学年	大学院生	対象学生	全学向

（総合生存学館の学生は，全学共通科目として履修登録できません。所属部局で履修登録してください。）

[授業の概要・目的]

有人宇宙活動を宇宙に恒久的に人類社会を創造する活動であると定義する時、人類が宇宙に展開するための新しい総合科学：人間－時間－宇宙を繋ぐ有人宇宙学が必要となる。有人宇宙学は、宇宙－時間（宇宙の進化）、時間－人間（生命の進化および文明の進化）、人間－宇宙（宇宙開発の進化）の４つの進化過程を司る学問である。それは、宇宙に人間社会を創ろうとする試みが、自然科学分野のみならず、人文社会科学分野にも幅広く関係していることによる。 この講義では、人類が宇宙における持続可能な社会基盤を構築するために何が必要なのか、自然科学的・人文社会科学的に解説する。理工系ばかりでなく人文社会系学生が、宇宙における持続的社会の構築という命題の中に、自分の研究分野との接点を見つけ、自分の研究の新たな意義と新しい方向性を見出すことをめざす。

[到達目標]

人類の宇宙進出が地球文明にとって何を意味するかを理解し、人類が宇宙に持続可能な社会基盤を構築することが可能であるのかを、有人宇宙学、宇宙環境工学、宇宙探査工学、宇宙生命科学、宇宙生物学、宇宙医学、宇宙霊長類学、宇宙人類学、宇宙法、宇宙居住学など幅広い学問分野の融合から探求することを学ぶ。

[授業計画と内容]

【第1回】 10月 2日 有人宇宙学（土井・山敷・田口）
【第2回】 10月 9日 宇宙環境工学（山敷）
【第3回】 10月16日 宇宙探査工学（清水）
【第4回】 10月23日 有人宇宙学演習１
【第5回】 10月30日 宇宙生命科学（保尊）
【第6回】 11月 6日 宇宙木材工学（村田）
【第7回】 11月13日 有人宇宙学演習２
【第8回】 11月20日 宇宙霊長類学（足立）
【第9回】 12月 4日 宇宙医学（寺田）
【第10回】 12月11日 宇宙法（青木）
【第11回】 12月18日 有人宇宙学演習３（土井・山敷）
【第12回】 12月25日 宇宙人類学（岡田）
【第13回】 1月 8日 宇宙居住学（稲富）
【第14回】 1月15日 有人宇宙学演習４（土井・山敷・田口）
【第15回】 1月22日 フィードバック
講師の都合により、講義日程が前後する可能性がある。

有人宇宙学(2)へ続く↓↓↓

有人宇宙学(2)

[履修要件]

学部学生も聴講可能である。

[成績評価の方法・観点]

講義への出席、4回の有人宇宙学演習において各講義要素の理解度と積極性・創造性及び最終レポートによって評価する。

[教科書]

使用しない

[参考書等]

（参考書）
授業中に紹介する

[授業外学修（予習・復習）等]

なし

[その他（オフィスアワー等）]

聴講希望の学生は、講義時間に直接講義室に来てください。
オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。